



学 会 通 信

第 83 号

2017 年 6 月 30 日発行

目次

ICoME2017 のご案内【最終報】	2
第 24 回日本教育メディア学会年次大会のご案内【第 2 報】	5
研究委員会 第 2 回研究会報告	9
論文投稿のご案内	10
学会費納入のお願い、入会者・退会者	10

ICoME2017のご案内【最終報】

ICoME2017の登録に関するご案内 (ICoME2017 Registration Information)

研究委員会（国際研究会 ICoME 担当）

ICoME2017 についての最終案内をさせていただきます。参加登録に関する重要なお知らせですので、必ずご確認ください。

- テーマ：4Cs for Learning: Collaboration, Creativity, Communication & Critical Thinking
- 開催日: 2017年8月2日(水) - 4日(金)
- 場 所: ハワイ大学マノア校 (The University of Hawaii at Manoa)
- ウェブ: <http://jaems.jp/icomel/>

発表論文の原稿提出は【2017年6月30日】です。

★Important Dates - Call for Papers/発表論文募集スケジュール

- June 30th: Full Paper Submission 6月30日(金): 最終原稿の提出

ICoME2017の参加登録が始まっております。発表および参加される方は、必ず登録を行い、参加費の支払いをお願いします。

Everyone (all presenters and participants) who attends ICoME 2017 must complete a registration form and pay a conference fee.

<参加登録について (Registration Form) >

- 登録期日: 2017年7月21日(金)
- 登録フォーム
下記のオンラインフォームから参加登録をしてください。
<https://form.jotform.us/tchawaii/icomel-2017-registration-form>
- 登録がうまくいかない場合、PDFにして下記のメールに送付してください。
【送付先】 icomelhawaii@gmail.com.

- Complete the registration form online:
<https://form.jotform.us/tchawaii/icomel-2017-registration-form>

- The deadline to register is July 21, 2017.
- If you are unable to view or complete the registration form online, send an email message requesting a PDF version to icomehawaii@gmail.com.

<参加費 (Conference fees for ICoME) >

- Professor/Teacher/Researcher/Educational specialist – \$100.00 USD
- Graduate Student – \$30.00 USD
- Undergraduate Student – \$30.00 USD
- Other Participants & Professionals – \$100.00 USD

<参加費に含まれるもの (The conference registration fee includes) >

Aug 1 – International Panel Discussion & Orientation

(OPTIONAL , for early arrivals)

Aug 2 – Welcome Reception (after concurrent / roundtable sessions)

Aug 3 – Awards Ceremony & Closing Reception (after concurrent sessions)

Aug 4 – Educational tour & LTEC open house (10 am – 3 pm)

<支払い方法>

支払い方法は、クレジットカード (PayPal) または、当日受付のいずれかをお願いいたします。学会期間中に受付で支払いされる場合は、米ドルをご準備ください。

You may pay in advance using a credit card (PayPal) or pay on-site at the registration desk. If you are paying at the conference registration desk, please make your payment in US dollars.

<学部の 50 周年記念パーティについて

ETEC/LTEC 50th Anniversary Reception

下記の通り、ETEC/LTEC (Learning Design and Technology 学部) の 50 周年記念パーティにご招待いたします。ハワイの様々な料理をブッフェ形式で楽しんでいただけます。参加を希望される方は事前に登録をしてください。

日 時 : 2017 年 8 月 5 日 (土) 17:30

場 所 : UH-Manoa Campus Center Ballroom

参加費 : 60 ドル (大人)、20 ドル (8-13 歳までの子ども。8 歳以下は無料)

登 録 : <http://tinyurl.com/ltec50reception>

You are also invited to participate in this special celebration on the evening of August 5, 2017 (5:30 pm) in the UH-Manoa Campus Center Ballroom. A separate registration and fee apply.

To register and for more information, see: <http://tinyurl.com/ltec50reception>

<学会ウェブページ>

ハワイ大学、ホノルルへのアクセス、宿泊などについては、学会ウェブでご確認ください。

【ウェブ】 <https://icome2017.net/registration-information/>

For more information about the University of Hawaii, arriving in Honolulu, and accommodations, see the Registration Information web page:

<https://icome2017.net/registration-information/>

<お問い合わせはこちら (Contact Form) >

バート・キムラ教授 Bert Kimura <bert@hawaii.edu>

カーティス・ホー教授 Curtis Ho <curtis@hawaii.edu>

<https://icome2017.net/contact/>

第 24 回日本教育メディア学会年次大会のご案内【第 2 報】

年次大会委員会 委員長：中川（放送大）、副委員長：中橋（武蔵大）、小林（茨城大：開催地）
大会実行委員会 委員長：村野井（茨城大）、石川（常磐大）、小林（茨城大）

1、日時と場所

10月14日（土）、15日（日） 茨城大学

2、大会プログラム

10月14日（土）会場：午前：茨城大学茨苑会館 午後：教育学部 A 棟

9:30～ 受付

10:00～11:30 地元企画：公開授業と振り返り

教科学習におけるプログラミング教育（小学校第 6 学年）

授業者：清水 匠（茨城大学附属小学校）

司会：中川一史（放送大学）、コメンテータ：小林祐紀（茨城大学）

12:30～13:20 総会

13:30～15:30 一般研究発表（1 件あたり 30 分発表）※質疑と交代を含む

15:40～17:00 シンポジウム I 『授業実践における教育メディアの役割』

登壇者：寺嶋浩介（大阪教育大学）、梅村研（文部科学省）、

臼井英成（那珂市教育委員会）、石井里枝（仙台市立錦ヶ丘小学校）

コーディネータ：黒上晴夫（関西大学/本学会会長）

17:30～19:30 懇親会（茨苑会館内を予定）

10月15日（日）会場：教育学部 B 棟

9:30～11:30 課題研究発表

11:30～12:30 昼食

12:30～14:30 一般研究発表（1 件あたり 30 分発表）※質疑と交代を含む

14:45～16:45 シンポジウム II 『学校放送番組とメディア・リテラシー』

登壇者：村野井 均（茨城大学）、宇治橋 祐之（NHK 放送文化研究所）、薄井

直之（古河市立上大野小学校）

コーディネータ：中橋 雄（武蔵大学）

3、課題研究

課題研究 1 「アクティブ・ラーニングの実践と評価」

コーディネータ：泰山 裕（鳴門教育大学）、岩崎千晶（関西大学）

「アクティブ・ラーニング」という言葉が注目されてから、様々な実践が積み重ねられてきました。初等中等教育においては、次期学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」という学びの姿が記述され、高等教育においては平成 24 年度の答申において学生にとって受動的な教育の場からアクティブ・

ラーニングへの転換が必要だと提示されるなど、アクティブ・ラーニングを目指した実践の重要性はますます高まっています。そこで、本課題研究では、アクティブ・ラーニングのための授業設計や実践、評価方法などに関わる発表を募集します。小学校、中学校、高等学校、大学などの実践研究者が交流し、それぞれの校種におけるアクティブ・ラーニングの特徴を整理しながら幅広い視点からアクティブ・ラーニングについての議論を深めたいと考えています。

課題研究2「グローバル時代におけるメディア活用」

コーディネータ：佐藤慎一（日本福祉大学）、山本良太（東京大学）

メディアは文字通り、何かと何かを取り結ぶ際に中間で作用するものです。近年のグローバル化に伴い、国境や文化、集団を越えた様々な実践が展開されていますが、本課題研究では、そうした様々な実践においてメディアをどのように活用することができるかを議論します。事例として、海外との協働プロジェクトや交流学习、異文化間教育、持続可能な開発のための教育（ESD）、日本人学校・補習授業校での教育実践、国際教育開発の実践などを幅広く募集し、グローバル時代におけるメディアの在り方について検討します。

課題研究3「授業・学習を再定義する教育メディア」

コーディネータ：稲垣 忠（東北学院大学）、林 向達（徳島文理大学）

クラウドサービスや学習者用端末の普及は、授業や学習をどう変えていくのでしょうか。授業時間にしばられることなく、いつでもどこでも主体的に学ぶ、ソーシャルメディアでさまざまな他者と協働するなど、多様な可能性が拓かれつつあります。本課題研究では、反転授業、ブレンデッドラーニング、学校と家庭の学習連携、授業外学修、オープン教材の活用等、学校種を問わず、教育メディアによって実現される学習環境と、そこで展開される学びについて新たな視座、実践、実証成果等を交流し、今後の教育メディア研究に資する討議を展開します。

課題研究4「メディア・リテラシー教育の新しい展開」

コーディネータ：佐藤和紀（常葉大学）、後藤康志（新潟大学）

ICT 環境の急速な進歩により、児童生徒のメディア利用には大きな変化があります。学校におけるタブレット端末導入など学習環境の変化に伴って、メディア・リテラシーとその教育に関する研究の重要性も増しています。一方、次期学習指導要領では、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」や「何ができるようになるか」も重視されているものの、こうした新しい展開に対応する研究や実践が十分に蓄積されているとはいえません。このような状況をふまえて、本課題研究では、タブレット端末を活用した実践やソーシャルメディアの時代に対応した学習などに関する理論的、実践的な研究を幅広く募集します。

4、大会までのスケジュール

- ・課題研究プロポーザル（要旨）の申し込み期間

2017年5月22日（月）～6月19日（月）※ すでに終了しております。

現在審査中です。採否通知は7月上旬頃におこなう予定です。

・課題研究 原稿提出締切 2017年 8月 31日 (木)

・一般研究募集

原稿提出期間 2017年 7月 17日 (月) ~8月 31日 (木)

5、参加申し込み

・参加申し込みは、昨年通り、以下の通りとします。

会員 3000円 (事前)、4000円 (当日)

学生会員 1000円 (事前)、2000円 (当日)

非会員 4000円 (事前)、5000円 (当日) ※ただし、非会員の現職教員は無料

学生非会員 2000円 (事前)、3000円 (当日)

懇親会 5000円 (学生 3000円)

・懇親会会場の準備の都合上、事前の参加申し込みと入金をお願いします。

なお、懇親会参加費は事前・当日ともに同じ料金です。

・事前参加申し込みの締め切りは、9月 24日 (日) までとします。

・本大会においては、非会員の現職教員の場合、参加を無料と致します。できるだけ多くの参加者にご参加いただき、学会の認知や入会を促す意図がありますので、ご了承願います。

<事前参加申し込みに関わる送金先>

銀行名：セブン銀行

店名：カーネーション支店

種目：普通

店番号：105

口座番号：1523107

名義：小林祐紀 (コバヤシユウキ)

・振込手数料は、ご負担ください。

・ご自身の口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、y_k0803@vc.ibaraki.ac.jp にメールでご連絡ください。大学事務局を通じた大学名による振込は、どなたの会費か判断できないため避けていただくようお願いいたします。

・発表者は、参加費とは別に年会費を納めている必要があります。

会費に関する規定は、以下をご覧ください。

<http://jaems.jp/about/kitei/kaihi.html>

・参加者のうち学生会員は、本年度の会費をできるだけ事前にお支払いください。

当日お支払いいただくこともできますが、事務局の運営にご協力ください。

なお、入金口座は、「事前参加申し込みに関わる送金先」と異なり、以下となります。

銀行名：ゆうちょ銀行

種目：普通

店番：418

店名：四一八店（ヨシイチハチ店）

口座番号：0865850

名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）

6、その他

・前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。ご自身の端末等を持参するか、事前に学会の Web からプログラムを印刷してください。

・土曜は学食が営業していますので、弁当の予約は日曜のみとします。なお、大学周辺にはコンビニ、飲食店などがあります。

・年次大会開催日に、他のイベントが予定されています。水戸のホテル等を予約するのが難しい状況の場合、土浦、勝田、日立あたりが近隣となります。

・年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第 24 回年次大会事務局

茨城大学 教育学部 小林研究室

電話:029-228-8321 メールアドレス y_k0803@vc.ibaraki.ac.jp

研究委員会 第2回研究会報告

2017年3月4日（土）、信州大学教育学部にて2016年度第2回研究会が開催されました。今回は日本教育工学会研究会と教育システム情報学会北信越支部の学生研究発表会と並行して開催され、3研究会合計で200人以上の参加者となりました。



新学習指導要領で示される基本方針に対して教育メディアはどのように応答するのか、幅広く考えながら将来の実践や研究の方向性を探究する場としたく、「新学習指導要領と教育メディア」をテーマとし、12件の研究発表（午前：1会場、午後：2会場）がありました。うち、7件はテーマとの関連が強いものでした。

「生活科におけるタブレットを持ち帰る活動を取り入れた学習活動の検討」では、小学校1年生の生活科の授業でのタブレット活用の取り組みの成果と課題が報告されました。「算数科『量と測定』領域における反転授業導入による児童の変容」では、タブレット端末を活用して反転授業の形式で小学校5年生の図形の学習を行った事例から、学習内容の理解に効果が見られたことが報告されました。「既存の情報端末を用いて行った小学生を対象としたプログラミング学習の試み」では、事例を通して、特別な機器を購入しなくても小学校でプログラミング学習の実現が可能であることが示唆されました。「プログラミング的思考の一考察」では、小学校でのプログラミング教育のあり方に関する議論を概観し、プログラミング的思考を育成する上での課題の整理と提示が行われました。

「知のアソシエーションの基盤をつくる双方向債務型『助け合い』活動の提案および活動状況可視化システムの開発」では、学習者の協同による学習の基盤となる様式のあり方の提示と、それに基づいた協同的な活動を支援するための状況可視化システムの開発について報告されました。「メタ・ルーブリックとしての『学びの質ルーブリック』の活用可能性」では、対話的で深い学びに組織的に取り組むためのカリキュラム・マネジメントを展開させるうえで求められるツールのあり方が検討されました。「情報活用の実践力に関する評価問題の実施と評価」では、探究的な学びを支える情報活用の実践力について、紙面での調査問題の結果をもとに、調査から明らかになった点と、調査の実施および採点に関する課題が提示されました。

残りの5件でも、ICTやメディアを活用した事例の報告など教育メディアに関する幅広い研究成果が報告されました。

「体育授業における『指導ことば』に対する視点の育成」では、子どもに運動を教える際の教師の「指導ことば」の育成を意図した大学の授業における映像活用の事例が報告されました。「保育での放送番組

の活用で幼児期に育まれる力」では、幼稚園における放送番組の継続視聴において、クラスで同一視聴し、感想等の話し合いや感じたことをもとに事後活動をすることで「物事に取りかかるとき、計画的に進める」という非認知スキルの伸びが可視化できる可能性が指摘されました。「360度ドーム映像の臨場感を利用した異文化学習」では、ドーム映像を用いて外国語学習を伴う異文化学習を行う事例が報告され、平面映像を用いた場合よりも情報量が多いことが学習において効果的にはたらく可能性が示唆されました。「メディア史のデジタル・ストーリーテリング作成によるホープレスネス及び時間型態度の変化 2：協同学習」では、学習者が自らのメディア史を制作する活動を協同的に行う試みが紹介され、その効果と課題が検証されました。「西本三十二／キルパトリック往復書簡集の研究上の価値」では、西本三十二が終戦直後に交わした書簡集が発見されたことが報告され、研究上の価値が提示されました。

全体を通して、テーマについて幅広い視点から議論がなされ、質疑応答も活発に行われました。また、今回は他学会の研究会との並行開催ということもあって、研究発表を中心に参加者の交流も積極的に行われました。本研究会に参加いただいた皆様にあらためてお礼を申し上げるとともに、研究会の開催に際してご尽力いただきました日本教育工学会研究会ならびに教育システム情報学会北信越支部の関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。

文責：佐藤知条（湘北短期大学）

論文投稿のご案内

■ 『教育メディア研究』 一般論文募集のお知らせ

『教育メディア研究』では、論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け、その都度、査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

締切：随時

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2017年度（2017年4月1日から2018年3月31日）の年会費（正会員7,000円、学生会員4,000円）が未納の方は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料

は無料です。

- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、事務局までメールアドレス、お届け先住所の情報をお送りくださるよう、よろしくお願いいたします。

【入会者・退会者】※敬称略

新入会員・正会員（2名）・・・伊藤 秀明、倉田 智子

退会者・正会員（2名）・・・高橋 弘、小笠原 喜康

会員総数 344名・17団体

名誉会員：3名

正会員：303名

学生会員：38名

団体会員：6団体

購読会員：11団体

（平成29年6月19日現在）

日本教育メディア学会 事務局

〒543-0054 大阪市天王寺区南河堀町4-88

大阪教育大学 寺嶋浩介 研究室内

E-mail : office@jaems.jp

学会ホームページ URL : <http://jaems.jp/>

広報委員会

委員長 後藤康志（新潟大学）

副委員長 渡辺 雄貴（東京工業大学）

委員 岩崎千晶（関西大学）

井ノ上憲司（大阪大学）

遠海友紀（東北学院大学）